



2020年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月8日

上場会社名 株式会社アイケイ

上場取引所 東名

コード番号 2722 URL <https://www.ai-kei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 飯田 裕

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理統括 (氏名) 高橋 伸宜

TEL 052-856-3101

四半期報告書提出予定日 2019年10月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第1四半期の連結業績(2019年6月1日～2019年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第1四半期	3,846	△19.7	△49	—	△54	—	△38	—
2019年5月期第1四半期	4,790	13.0	61	△70.4	66	△68.6	38	△74.4

(注) 包括利益 2020年5月期第1四半期 △38百万円 (—%) 2019年5月期第1四半期 38百万円 (△74.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第1四半期	△5.20	—
2019年5月期第1四半期	5.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第1四半期	6,788	2,514	37.0
2019年5月期	6,818	2,688	39.4

(参考) 自己資本 2020年5月期第1四半期 2,514百万円 2019年5月期 2,688百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2020年5月期	—	—	—	—	—
2020年5月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,410	△10.1	182	△16.6	186	△18.5	120	△18.7	16.05
通期	16,946	△3.8	577	33.6	585	33.6	402	68.8	53.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注意事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年5月期1Q	7,808,000 株	2019年5月期	7,808,000 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年5月期1Q	330,900 株	2019年5月期	330,900 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年5月期1Q	7,477,100 株	2019年5月期1Q	7,477,100 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値又は将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中通商協議及び英国のEU離脱交渉が依然として不透明なままであることから、先行きが見通し難い状況が続き、全体としては力強さに欠ける状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループはリーディングカンパニーの最大条件を「ファンが多さ」と定義づけ「ファンづくり」を経営最大のテーマとして経営理念の実践を重ねております。

当第1四半期連結累計期間の売上面は、BtoC事業では、TVショッピングにおいて「ステップエイト(場所に合わせて8通りに変化する脚立)」、「バタフライアブスディープテック」等が堅調に推移いたしました。また、SKINFOOD店舗における新店の開設及び閉店はなく、その店舗数は直営店21店舗(前年同四半期21店舗)、フランチャイズ店2店舗(前年同四半期2店舗)の合計23店舗(前年同四半期23店舗)となりました。また、店舗でのキメ細かな来店促進策の実施によりほぼ計画通りの売上で推移いたしました。

BtoBtoC事業では、マーケティングメーカーとして確固たる基盤を築くため、当期における自社開発商品の売上比率を40%まで高めることとし、商品開発に注力してまいりました。また、売上面では生協ルート、店舗ルート、海外ルートで前期第1四半期実績と比較して増収いたしましたものの、通販ルートでは減収となりました。

売上総利益面は、一部存在していた過剰在庫を一扫するため、値下げ販売等を行いましたことから、売上総利益率は45.8%(前年同四半期比0.9%減)となりました。また、役員退職慰労金制度の廃止に伴い、加算功労金260万円を確定債務として販売費及び一般管理費に計上いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高3,846百万円(前年同四半期比19.7%減)、営業損失49百万円(前年同四半期は61百万円の営業利益)、経常損失54百万円(前年同四半期は66百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失38百万円(前年同四半期は38百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年四半期比較につきましては、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

< BtoC事業 >

売上高は1,222百万円(前年同四半期比42.5%減)となり、営業利益は11百万円(前年同四半期比64.6%減)となりました。

< BtoBtoC事業 >

売上高は2,574百万円(前年同四半期比1.5%減)となり、営業損失は44百万円(前年同四半期は34百万円の営業利益)となりました。

< その他 >

その他は音声通話録音システム「VOISTORE」及びチャットシステム「M-Talk」等の売上高であり、売上高は49百万円(前年同四半期比5.4%減)となり、営業損失は11百万円(前年同四半期は8百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ35百万円増加しました。

主な流動資産の変動は、「現金及び預金」が119百万円、「その他」が191百万円それぞれ増加し、「受取手形及び売掛金」が163百万円、「商品及び製品」が112百万円それぞれ減少したことによります。

当第1四半期連結会計期間末の固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ64百万円減少しました。

主な固定資産の変動は、「有形固定資産」が20百万円増加し、投資その他の資産の「その他」が83百万円減少したことによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は6,788百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ161百万円増加しました。主な流動負債の変動は、「短期借入金」が340百万円増加し、「買掛金」が88百万円、「未払法人税等」が94百万円、それぞれ減少したことによります。

当第1四半期連結会計期間末の固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ17百万円減少しました。

主な固定負債の変動は、「その他」が168百万円増加し、「役員退職慰労引当金」が142百万円、「長期借入金」が46百万円減少したことによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債は4,273百万円となり、前連結会計年度末に比べ144百万円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ173百万円減少しました

主な純資産の変動は、「利益剰余金」が173百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年7月9日に公表いたしました2020年5月期第2四半期(累計)及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	410,524	529,811
受取手形及び売掛金	2,766,254	2,602,271
有価証券	131,602	128,920
商品及び製品	2,044,917	1,932,646
原材料及び貯蔵品	9,743	13,245
その他	385,012	576,435
貸倒引当金	△6,683	△6,702
流動資産合計	5,741,372	5,776,628
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	181,641	192,695
土地	80,216	80,216
その他(純額)	102,854	112,510
有形固定資産合計	364,712	385,423
無形固定資産		
のれん	6,100	5,337
その他	115,201	114,250
無形固定資産合計	121,301	119,588
投資その他の資産		
その他	602,145	518,329
貸倒引当金	△11,155	△11,152
投資その他の資産合計	590,990	507,177
固定資産合計	1,077,004	1,012,189
資産合計	6,818,376	6,788,818
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,094,223	1,005,603
短期借入金	600,000	940,000
1年内返済予定の長期借入金	543,888	572,583
未払金	577,451	527,807
未払法人税等	103,507	9,443
賞与引当金	39,068	1,128
返品調整引当金	23,070	17,505
その他	142,023	210,790
流動負債合計	3,123,232	3,284,862
固定負債		
長期借入金	742,643	695,875
退職給付に係る負債	109,745	113,579
役員退職慰労引当金	142,700	—
その他	11,235	179,556
固定負債合計	1,006,325	989,011
負債合計	4,129,557	4,273,873

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	401,749	401,749
資本剰余金	404,089	404,089
利益剰余金	1,917,233	1,743,239
自己株式	△36,233	△36,233
株主資本合計	2,686,838	2,512,844
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,980	3,688
為替換算調整勘定	—	△1,588
その他の包括利益累計額合計	1,980	2,099
純資産合計	2,688,819	2,514,944
負債純資産合計	6,818,376	6,788,818

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
売上高	4,790,380	3,846,173
売上原価	2,551,966	2,084,909
売上総利益	2,238,413	1,761,264
販売費及び一般管理費	2,176,701	1,810,328
営業利益又は営業損失(△)	61,712	△49,064
営業外収益		
受取利息	754	770
受取手数料	552	545
為替差益	3,081	—
その他	1,599	1,374
営業外収益合計	5,986	2,690
営業外費用		
支払利息	1,247	1,846
為替差損	—	6,508
その他	1	—
営業外費用合計	1,248	8,355
経常利益又は経常損失(△)	66,450	△54,729
特別損失		
固定資産除却損	—	1,841
特別損失合計	—	1,841
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	66,450	△56,570
法人税等	27,917	△16,475
四半期純利益又は四半期純損失(△)	38,533	△40,094
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△1,197
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	38,533	△38,897

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	38,533	△40,094
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	371	1,707
為替換算調整勘定	—	△288
その他の包括利益合計	371	1,418
四半期包括利益	38,905	△38,676
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,905	△37,478
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△1,197

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、2019年8月22日開催の第38期定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う退職慰労金の打ち切り支給を決議いたしました。

これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取り崩し、「役員退職慰労引当金」に計上しておりました142,288千円を「長期未払金」として固定負債の「その他」に含めて表示しております。

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分)

当社は2019年9月10日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を決定し、2019年9月30日に払込みが完了しました。

処分内容の概要は以下のとおりです。

(1) 処分する株式の種類及び数	当社普通株式 17,600株
(2) 処分価額	1株につき434円
(3) 処分総額	7,638,400円
(4) 処分先及びその人数並びに処分株式の数	当社の取締役(監査等委員である取締役を除く。)4名 17,600株
(5) 払込期日	2019年9月30日

(ストック・オプション(新株予約権)の発行)

当社は2019年9月10日開催の取締役会において、当社取締役(監査等委員である取締役を除く。)、執行役員、従業員並びに当社子会社の取締役に対し、ストック・オプションとして新株予約権を発行することを決議し、2019年9月30日に発行内容が確定し、割当を行いました。

発行内容の概要は以下のとおりです。

1. 新株予約権の総数

1,310個(新株予約権1個当たりの目的となる株式数は100株)

2. 新株予約権の割当の対象者及びその人数並びに割当てた新株予約権の数

当社の取締役	4名	320個
当社の執行役員	3名	120個
当社子会社の取締役	6名	240個
<u>当社従業員</u>	<u>52名</u>	<u>630個</u>
合計	65名	1,310個

3. 新株予約権の目的たる株式の種類及び数

当社普通株式 131,000株

4. 新株予約権の行使に際して出資される財産の価額

新株予約権1個当たり 44,400円

(株式1株当たり 444円)